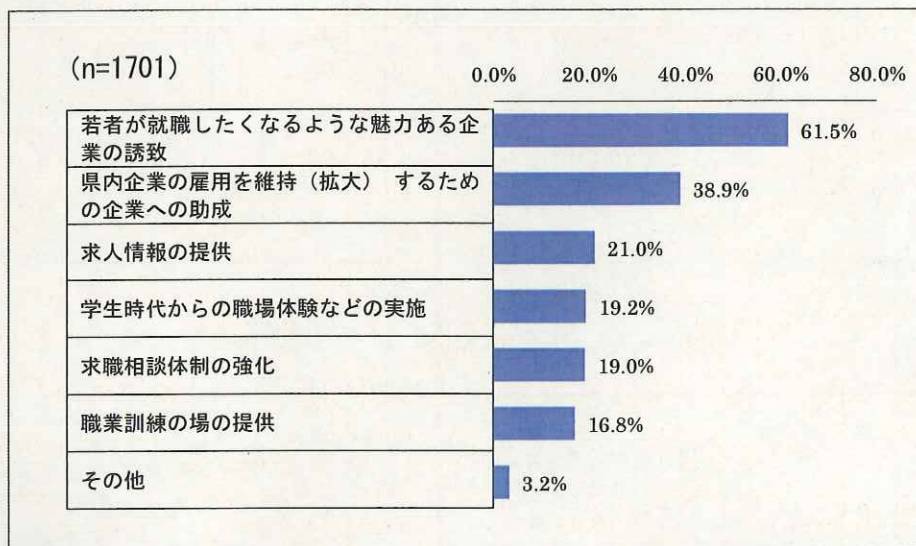


### 3. 個別施策に関する調査

#### 【雇用・産業振興】

[問 8]

県内で就職してもらうために、新卒者や若者向けの雇用対策として、今後、県ではどのような取り組みが必要だと思いますか。2つまで○印をつけてください。



#### 【分析結果】

##### [全体]

・「若者が就職したくなるような魅力ある企業の誘致」(61.5%)が最も多く突出している。次いで、「県内企業の雇用を維持（拡大）するための企業への助成」(38.9%)となった。

##### [地域別]

・全ての地域で「若者が就職したくなるような魅力ある企業の誘致」が最も多く、島原半島地域(69.3%)が他の地域に比べ多い。

##### [性別]

・男性、女性ともほぼ同様の結果となり、性別による傾向は特にみられない。

##### [年代別]

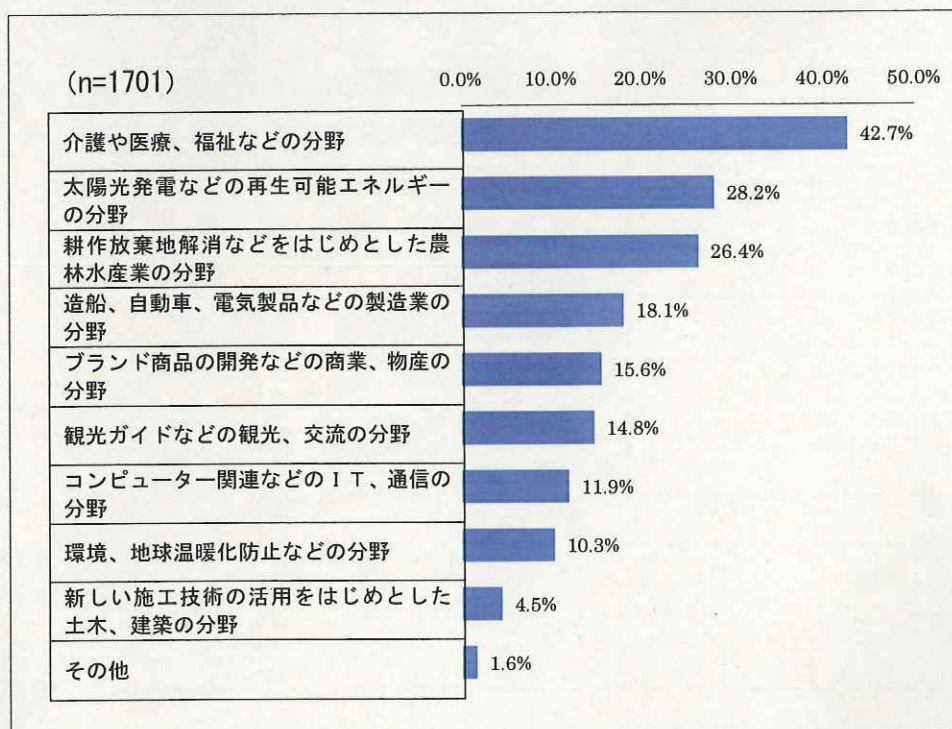
・「求人情報の提供」は、20歳代(35.4%)が最も多く、年代が高くなるとともに減少傾向がみられた。

##### [職業別]

・「求職相談体制の強化」、「求人情報の提供」で学生(34.5%)が多くなっている。また、「県内企業の雇用を維持（拡大）するための企業への助成」は、家族従業者(51.0%)が多い。

【問 9】

今後、本県において、新しい雇用を生み出す分野として期待される分野はどの分野だと思いますか。  
2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

- ・「介護や医療、福祉などの分野」(42.7%)が最も多く、突出している。次いで、「太陽光発電などの再生可能エネルギーの分野」(28.2%)、「耕作放棄地解消などをはじめとした農林水産業の分野」(26.4%)となった。

【地域別】

- ・「太陽光発電などの再生可能エネルギーの分野」は、特に県央地域(32.3%)、県北地域(31.6%)で他の地域より多くなっている。
- ・「耕作放棄地解消などをはじめとした農林水産業の分野」は、離島地域(30.7%)、島原半島地域(29.1%)で他の地域より多くなっている。

【性別】

- ・「介護や医療、福祉などの分野」は男性(36.8%)に比べて女性(47.2%)が多い。
- ・「太陽光発電などの再生可能エネルギーの分野」(男性：33.1%、女性：24.4%)、「造船、自動車、電気製品などの製造業の分野」(男性22.8%、女性：14.4%)は女性に比べて男性が多い。

【年代別】

- ・「介護や医療、福祉などの分野」は20歳代(49.4%)が他の年代に比べやや多い。
- ・「耕作放棄地解消などをはじめとした農林水産業の分野」は、60歳代(35.7%)、70歳以上(32.7%)で他の年代より多い。

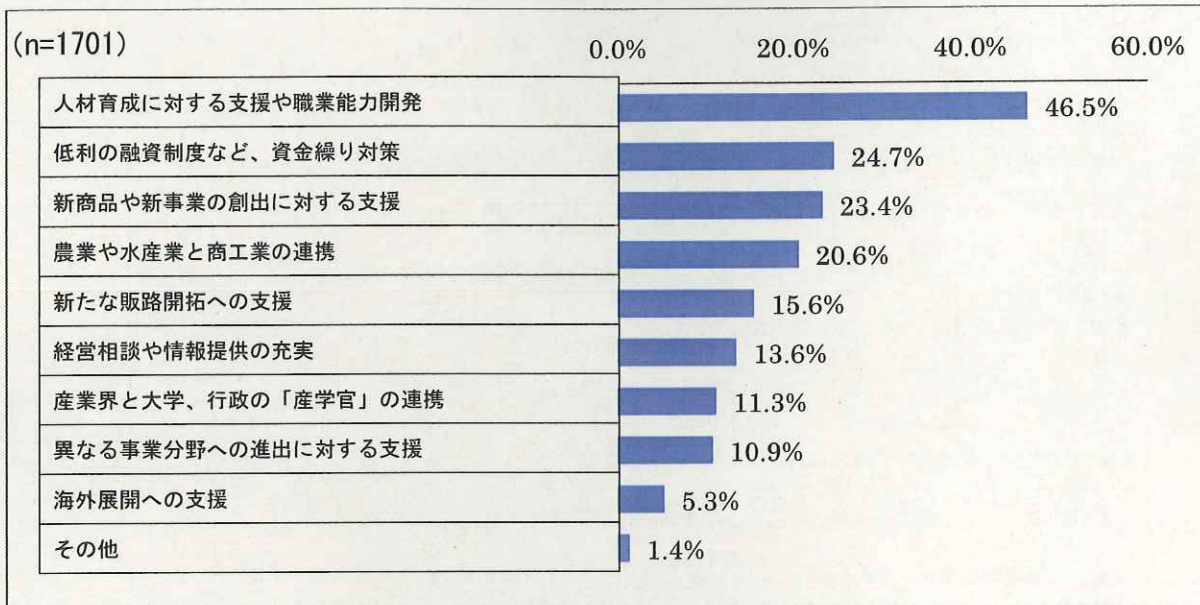
【職業別】

- ・「介護や医療、福祉などの分野」は、学生(55.2%)が多い。



[問 10]

地場企業を活性化させるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。  
2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

[全体]

・「人材育成に対する支援や職業能力開発」(46.5%)が最も多く、突出している。

[地域別]

・全ての地域で「人材育成に対する支援や職業能力開発」が最多。  
・「農業や水産業と商工業の連携」は、島原半島地域(29.6%)、離島地域(32.0%)で他の地域より多くなっている。

[性別]

・男性、女性ともに「人材育成に対する支援や職業能力開発」が最も多く、男性(42.8%)に比べて女性(49.5%)が多い。

[年代別]

・「人材育成に対する支援や職業能力開発」は、20歳代(54.9%)が非常に多い。  
・「農業や水産業と商工業の連携」は、年代が高くなるとともに増加傾向となっている。

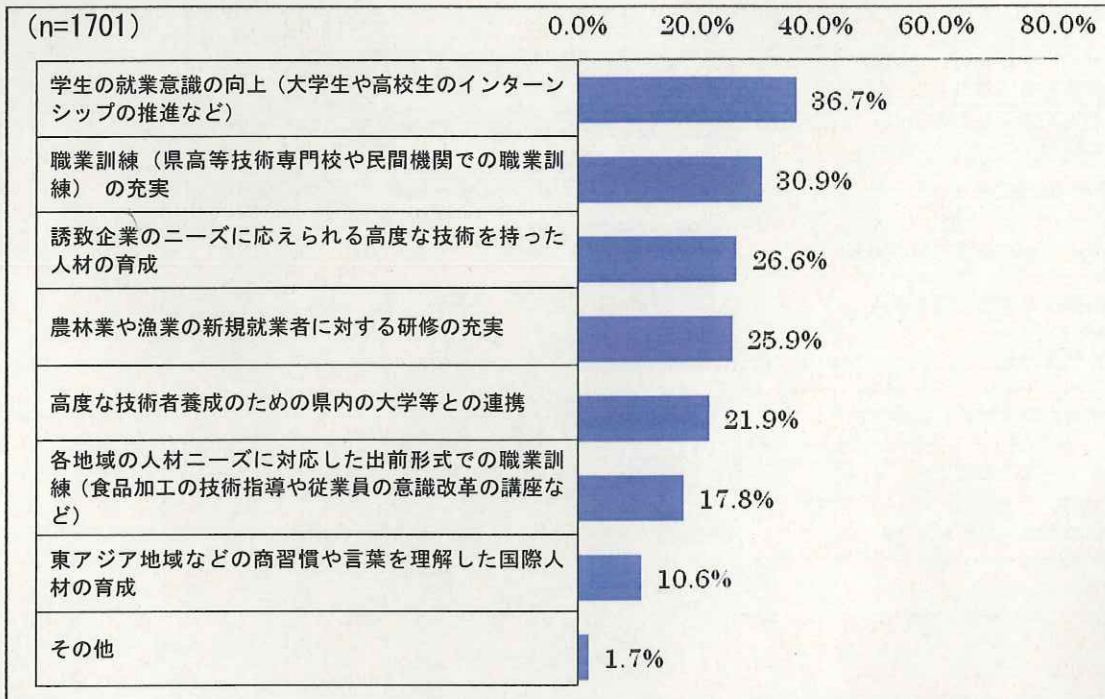
[職業別]

・「人材育成に対する支援や職業能力開発」(65.5%)、「異なる事業分野への進出に対する支援」(20.7%)は学生が多い。  
・「農業や水産業と商工業の連携」(自営業主:25.3%、家族従業者:31.4%)、「低利の融資制度など、資金繰り対策」(自営業主:33.1%、家族従業者:39.2%)は、自営業主、家族従業者が多い。



【問 11】

県内の産業を支える人材を育成するために、今後、県はどのような支援に力を入れていくべきだと思いますか。2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

- ・「学生の就業意識の向上（大学生や高校生のインターンシップの推進など）」（36.7%）が最も多く、次いで、「職業訓練（県高等技術専門校や民間機関での職業訓練）の充実」（30.9%）となった。

【地域別】

- ・離島地域を除く全ての地域で「学生の就業意識の向上（大学生や高校生のインターンシップの推進など）」が最も多く、離島地域では「職業訓練（県高等技術専門校や民間機関での職業訓練）の充実」（34.6%）が最も多い。
- ・「農林業や漁業の新規就業者に対する研修の充実」は、離島地域（31.4%）、島原半島地域（30.7%）が他の地域より多い。

【性別】

- ・「高度な技術者養成のための県内の大学等との連携」（男性：25.3%、女性：19.3%）や「誘致企業のニーズに応えられる高度な技術を持った人材の育成」（男性：29.6%、女性：24.4%）では、女性に比べて男性が多い。

【年代別】

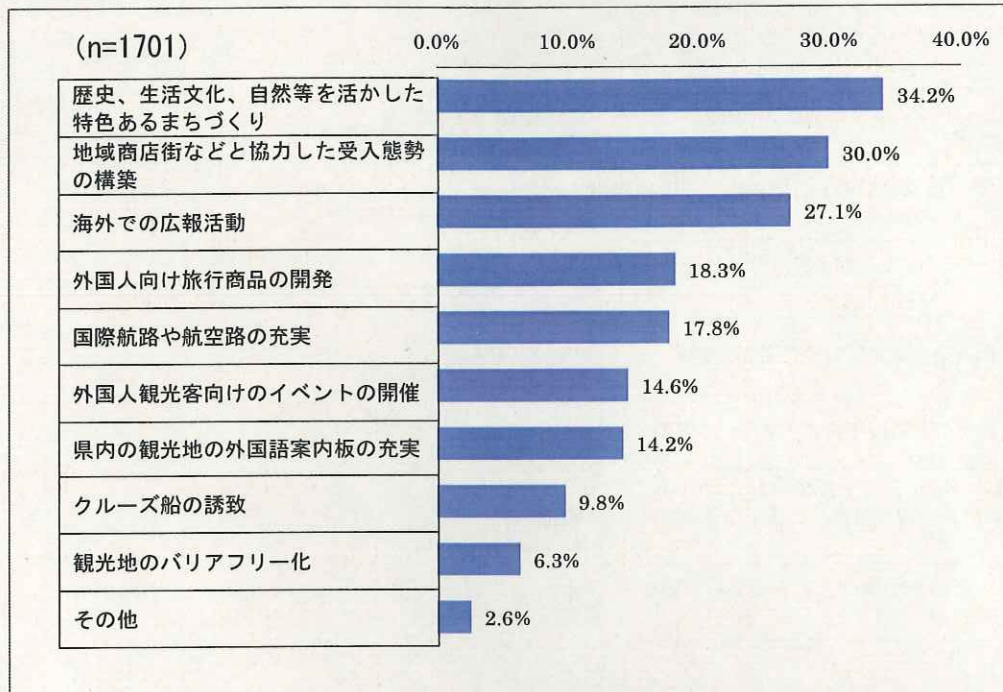
- ・「学生の就業意識の向上（大学生や高校生のインターンシップの推進など）」は、年代が高くなるとともに減少傾向である。
- ・「農林業や漁業の新規就業者に対する研修の充実」は、60歳代以上で多くなっている。

【職業別】

- ・「学生の就業意識の向上（大学生や高校生のインターンシップの推進など）」や「高度な技術者養成のための県内の大学等との連携」は、学生が多くなっている。
- ・「農林業や漁業の新規就業者に対する研修の充実」は、自営業主（38.6%）が多い。

[問 12]

アジアからの観光客を誘致するためにより強化すべきだと思うことは何ですか。  
2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

- ・「歴史、生活文化、自然等を活かした特色あるまちづくり」(34.2%)が最も多く、次いで、「地域商店街などと協力した受入態勢の構築」(30.0%)、「海外での広報活動」(27.1%)となった。

【地域別】

- ・「歴史、生活文化、自然等を活かした特色あるまちづくり」は、県南地域(36.4%)、県北地域(35.1%)、離島地域(35.9%)の3地域で多い。
- ・「地域商店街などと協力した受入態勢の構築」は、島原半島地域(35.2%)、離島地域(37.3%)で他の地域より多い。

【性別】

- ・「歴史、生活文化、自然等を活かした特色あるまちづくり」は、男性(30.9%)よりも、女性(36.9%)が多い。

【年代別】

- ・「海外での広報活動」は、20歳代(31.1%)、40歳代(31.5%)が多い。
- ・「地域商店街などと協力した受入態勢の構築」は、年代が高くなるとともに、増加傾向となっている。